



社交ダンスで上位入賞！おめでとうございます

2月に長崎で行われた長崎市長杯争奪2012年JBDF全九州ダンス選手権長崎大会で、築城ジュニアダンススクールの次の皆さんが上位に入賞しました。10月に行われる選抜大会に出場します。

（敬称略）

- | | | | |
|-------------|----|-------|-------|
| ・ジュニアスタンダード | 3位 | 古市 愛永 | 渡邊日奈子 |
| | 5位 | 神崎千代里 | 小川 夢真 |
| ・ジュニアラテン | 5位 | 神崎千代里 | 渡邊日奈子 |
| ・ジュブナイルラテン | 5位 | 古市 愛音 | 清水 萌 |

福岡県子ども会育成連合会 第28回京築ブロック連絡協議会「新年カルタ大会」準優勝～おめでとうございます

2月19日、苅田町総合福祉会館で行われた福岡県子ども会育成連合会 京築ブロック連絡協議会主催の新年カルタ大会に、築上町から低学年2チーム、高学年2チームが参加し、高学年の部で宇留津子ども会チームが準優勝に輝きました。この大会は、京築ブロック各市町の代表チームが参加する大会で、今回は低学年17チーム、高学年19チームの参加がありました。準優勝は、合併前から見て過去最高の成績で、宇留津子ども会の意気込みと練習の成果が大きく表れた結果です。今後も子ども会の活躍を期待したいと思います。



小学生ふれあいフットサル大会で準優勝～おめでとうございます

2月25日、天地山多目的グラウンドで小学生ふれあいフットサル大会が行われました。八津田小学校3年生児童のチーム「アッキー」が大会に参加し、低学年の部で準優勝に輝きました。

町民大学閉講式

3月2日、中央公民館で町民大学閉講式が行われました。今年は205人が受講し、一年間様々な分野で知識や経験を深め、閉講式を迎えました。

町長は「様々な知識と経験を身につけ、充実した学習をしていたいただいたことと思う。学習の成果は心身の健康にも役立つことでしょう」と挨拶。式の最後には受講生が一年間の成果を披露しました。受講生の身につけた知識や経験は必ずや人生の糧となることでしょう。



京築地区発掘調査速報展

2月21日～3月25日まで、船迫窯跡公園で京築地区発掘調査速報展2012が開催されました。この展示会は、京築地区で出土した埋蔵文化財を広く活用し、住民に郷土の歴史を学ぶ一助とするだけでなく、郷土に対する愛着と誇りを持ってもらうことを目的に開催されています。今回は、築上町の安武深田遺跡、みやこ町の京ヶ辻遺跡など東九州自動車道建設に伴う発掘調査で発見された貴重な文化財が展示されました。3月3日には、各市町の文化財担当者による展示解説も行われ、来場者は実物資料を前に興味深く説明に聞き入っていました。

福岡県美しいまちづくり建築賞表彰式

3月18日、大宰府市の九州国立博物館で第24回福岡県美しいまちづくり建築賞の表彰式が行われ、築上町火葬場が大賞（一般建築の部）として表彰されました。同賞は、個性豊かで美しく、良好な景観を形成する建築物を表彰し、建築・住宅文化への関心を高めてもらうと1987年から毎年行われています。今回、築上町火葬場の人の死を見送る空間を地域の人々との心象風景と結びつけ、一遺族一炉システムにまとめた工夫のある建築計画が、今回この賞の趣旨に最も相応しい公共建築として評価され、大賞の受賞となりました。



知恵の文殊大祭

2月25、26日、伝法寺不老山正光寺で智恵の文殊大祭が開催されました。毎年恒例の武者行列が行われ、沿道には家族連れなどの姿も見受けられました。また、正光寺では祈願祈祷参拝に町内外から多くの人々が訪れ、賑いを見せていました。

築上町歴史民俗資料館ボランティア大掃除

2月23日、築上町郷土誌会の皆さんがボランティアで歴史民俗資料館の大そうじを実施しました。1年間に民具や展示ケースに降り積もった埃を雑巾やハタキで丁寧に落としました。



地域の民話を紙芝居に

3月6日、葛城保育園で保護者会による紙芝居が行われました。これは、地域に伝わる民話を後世に語り継いでいくために、わかりやすく手作りの紙芝居で伝えようと保護者会と地域住民の協力で行われたものです。紙芝居のタイトルは「濁り淵の亀」。子どもたちにいじめられていた亀を助け、亀神が住む求菩提山に連れていくと亀神が雨を降らせ、日照りに苦しんでいた村人を助けたというストーリーです。

保護者会の田城会長は、「地元でもこの話を知っている人はほとんどおらず、こうした民話を語り継いでいく必要があると感じました。紙芝居を通して自然の大切さ、自然の恵みのありがたさについて伝えられたら」と話しました。当日は、保護者や住民が登場人物の扮装をして登場するなど、子どもたちは紙芝居に熱中していました。

築上町のみなさん、こんにちは。だいぶ春の陽気が感じられるようになってきたかなと思います。私がこの地にきたのも1年前の春でした。4月中ごろでしたが、まだ桜も綺麗に咲いていました。それからの日々は、田植えや神幸祭参加など人生初の体験が1年中続くような毎日をお過ごしくださいました。自然と共にあり自然に働きかける暮らしの豊かさ、心地よさを身をもって感じることでできました。「自然とのつながりがあつてこそ人とのつながり」とある著名な方が言っていました。自然の恵みから人間は、日々生きていく糧を得ているのでそれは当然の事のように、都会暮らしをしている時には、その言葉を身をもって感じる事が難しかったです。最後に私を受け入れていただいた築上町や築上町の方々本当に感謝しています。ありがとございました。これから縁を大切に生きていきたいです。1年間無事に活動を終えられたのも、築上町の方々のあたたかい言葉や笑顔があつてこそだと思います。この1年の築上町での経験や築上町の方からいただいた言葉が大きくこれからの私の人生を変えるような気がします。一人の若者の人生を大きく変えたという事で築上町にも責任を持っていたきたいと思っています（笑）伝統文化や自然の恵みを存分に生かしたいつもりでも魅力的な築上町であつてほしい。本当にお世話になりました。



緑

のふるさと協力隊

五島 三太

No.11